

刑務所図書館サービスの理念と制度：

アメリカおよびイギリスに焦点をあてて

The Philosophy and System of Prison Library Services:
Focusing on the U.S. and the U.K.

学籍番号：201421600

氏名：能勢 ゆかり

Yukari NOSE

刑務所図書館サービスの提供を通じて受刑者の情報アクセスを確保することは、受刑者の社会適応能力の育成に繋がり、受刑者の社会復帰を支援すると考えられる。しかし、欧米諸国で広く提供されている刑務所図書館サービスについて、日本ではこれまでサービス実施に向けた活発な議論がなされてこなかった。

本研究では、日本での刑務所図書館サービス提供の実現に貢献するため、文献調査を通じて、刑務所図書館サービスの理念および制度を解明した。刑務所図書館サービスの理念については、被拘禁者処遇関係文書および図書館関係文書から明らかにした。次に、実際に刑務所図書館サービスを提供しているアメリカおよびイギリスを対象として、両国の刑務所図書館サービスの実施根拠とされている法令および文書の調査を通じて、刑務所図書館サービスの制度を導き出した。

調査の結果、刑務所図書館サービスは、被拘禁者の表現の自由を保障するという基本的理念のもとで提供されている。さらに、被拘禁者処遇関係文書および図書館関係文書のどちらにおいても、被拘禁者の表現の自由を保障することが被拘禁者の社会復帰を支援することに繋がるという認識が示されている。次に、刑務所図書館サービスの制度について、アメリカでは、これまでアメリカ図書館協会が採択してきた文書がサービス実施の根拠とされている。イギリスは国内法令に刑務所図書館サービス提供の根拠を有しており、さらにソーシャル・インクルージョン政策のもとで刑務所図書館サービスが提供されている。

本研究では、文献調査を通じて、刑務所図書館サービスの基本的な理念と制度を明らかにした。今後、本研究で解明した基本的な理念および制度を実際に提供されている刑務所図書館サービスと照らし合わせ、理念が実務の現場で共有されているのか、制度がどのように機能しているのかという実態を明らかにする作業が必要である。

研究指導教員：吉田 右子

副研究指導教員：呑海 沙織